

小平中央公園鳥類調査報告書

2014年2月17日

井の頭バードリサーチ 高野丈

調査実施日時：2014年2月9日

天候：晴れ（積雪あり）

調査員：どんぐりの会、井の頭バードリサーチ（担当指導員：高野丈、大出水幹男）

調査地：小平中央公園および玉川上水

調査方法：スポットセンサス

調査定点：うさぎ橋、中央公園雑木林上水側、奥側、津田塾大遊歩道、津田塾大南

1. 全観察種（16種）

留鳥（一部漂鳥）：オオタカ、ツミ、ウグイス、エナガ、キジバト、コゲラ、シジュウカラ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、メジロ、キセキレイ、カワラヒワ

冬鳥：モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ビンズイ

2. 各定点での出現率および総合出現率

a. うさぎ橋

Ct 数

シジュウカラ	10	43.4%
ハシブトガラス	6	26%
ヒヨドリ	5	21.7%
ツミ	1	4.3%
ツグミ	1	4.3%
	23	100.0%

b. 雑木林上水側

Ct 数

キジバト	45	80.3%
シジュウカラ	5	8.9%
ビンズイ	1	1.8%
メジロ	1	1.8%
ハシブトガラス	3	5.3%
モズ		
ジョウビタキ		
キセキレイ	1	1.8%
	56	100.0%

総合出現率

シジュウカラ	64	26.12%
カワラヒワ	50	20.41%
キジバト	48	19.59%
メジロ	21	8.57%
エナガ	19	7.76%
ハシブトガラス	13	5.31%
ヒヨドリ	11	4.49%
ウグイス	7	2.86%
コゲラ	4	1.63%
オオタカ	2	0.82%
キセキレイ	1	0.41%
ジョウビタキ	1	0.41%
ツグミ	1	0.41%
ツミ	1	0.41%
ビンズイ	1	0.41%
モズ	1	0.41%
	245	100%

C.雑木林奥側		Ct 数
シジュウカラ	10	62.5%
キジバト	2	12.5%
ヒヨドリ	3	18.75%
カワラヒワ	1	6.25%
	16	100.0%

d.津田塾遊歩道		Ct 数
シジュウカラ	7	10%
キジバト	1	1.4%
ヒヨドリ	1	1.4%
カワラヒワ	49	70%
エナガ	5	7.1%
コゲラ	3	4.2%
ハシブトガラス	2	2.8%
オオタカ	2	2.8%
	70	100.0%

e.津田塾大南		Ct 数
シジュウカラ	32	41%
ヒヨドリ	2	2.56%
ハシブトガラス	2	2.56%
メジロ	20	25.6%
エナガ	14	18%
コゲラ	1	1.2%
ウグイス	7	8.9%
	78	100.0%

※太字は冬鳥と特筆種

3. 調査結果について

- a. 調査定点 5 カ所の内、2 カ所で冬鳥(ツグミ、ビズイ、モズ、ジョウビタキ)を確認。
小平中央公園は冬鳥が越冬、あるいは立ち寄って休息する越冬地・中継地であることを示している。
- b. 今季は冬鳥が少なく、前季確認したヒガラやキクイタダキを確認できなかった。
- c. 初めて、調査中に猛禽類 2 種 (オオタカ、ツミ) を確認。
- d. 留鳥の大きな混群 (シジュウカラ、メジロ、コゲラ、エナガ、ウグイス) を確認。
- e. 当地の環境を評価するには調査回数・頻度を増やし、数年間のモニタリングなどの追加調査をすることが必要。

以上